令和4年度 網走市における景気動向調査 <第 I 四半期>

報告書

目 次

第1章 調査要領

	1 - 1	調査	£ 時点	及	び調	1	対	象	期	間	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	1 - 2	調査	至対象			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	1
	1 - 3	調査	至方法	÷ •		•	•	•	•	•			•	•	•	•							•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	1 - 4	回坝	又状沉	<u>.</u>		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
第2章	概況																																		
	2 - 1	全体	の動	き			•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		2
	2 - 2	業種	重別の	動	き・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
		1)	建設	業		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
		2)	製造	業			•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•		4
		3)	卸売	業			•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•		4
		4)	小売	業			•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•		5
		5)	サー	· Ľ	ス業	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				•	•	•	5
第3章	業種別	設備	投資	の∜	犬況	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
第4章	業種別	経営	上の	問題	点	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
第5章	業界の	書気	動向	等々	- ص	佃	のさ	ご頂	新見	∄.																								•	8

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調 査 時 点 : 令和 4 年 4 月 1 日 (金) ~令和 4 年 6 月 30 日 (木)

(2) 調査対象期間:令和4年4月~6月期実施、及び令和4年7月~9月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業 (30件)、製造業 (24件)、卸売業 (20件)、小売業 (40件)、サービス業 (44件) の 158 社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

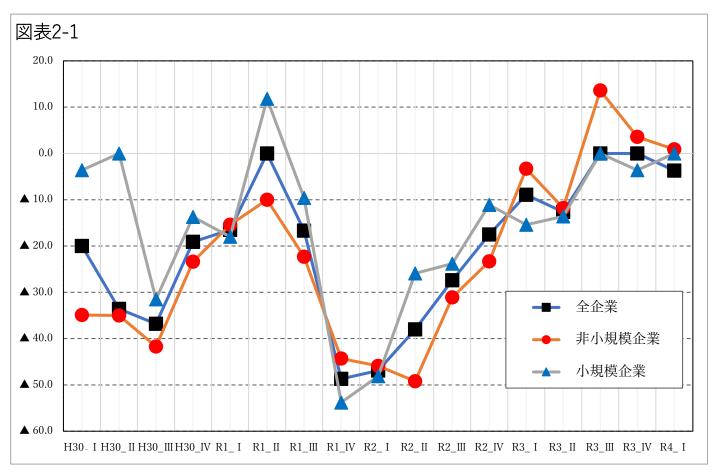
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット (Google フォーム) による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

企業数業種	対象企業数	回答企業	数	回答率
			28 件	
建設業	30 件	(非小規模企業:	14件)	93.3 %
		(小規模企業:	14件)	
			14 件	
製造業	24 件	(非小規模企業:	8件)	58.3 %
		(小規模企業:	6件)	
			12 件	
卸 売 業	20 件	(非小規模企業:	8件)	60.0 %
		(小規模企業:	4件)	
			30 件	
小 売 業	40 件	(非小規模企業:	15件)	75.0 %
		(小規模企業:	15 件)	
			29 件	
サービス業	44 件	(非小規模企業:	16件)	65.9 %
		(小規模企業:	13 件)	
合 計	158 件		113 件	71.5 %

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和 4 年度第 I 四半期(4 月~6 月)の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」23.6%、「悪化企業」27.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は \triangle 3.7 となり、前回(D.I 値 0.0)に比べ、その差は 3.7 ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」41.0%、「悪化企業」32.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は 8.3 となり、前回 (D.I 値 3.6) に比べ、その差は 4.7 ポイント改善傾向となっています。

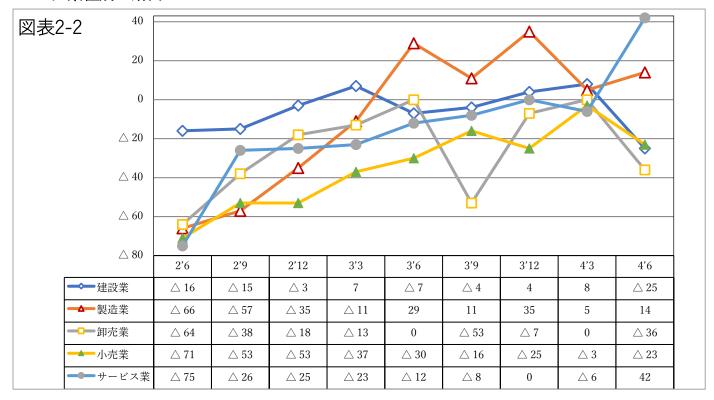
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」46.3%、「悪化企業」34.5%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は 11.8 となり、前回(D.I 値 $\triangle 3.6$)に比べ、その差は 15.4 ポイント改善傾向となっています。

次期(7月~9月)見通しとして全企業の業況は、今期に比べ、「好転企業」15.5%、「悪化企業」26.4%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は \triangle 10.9 となり、前回(D.I 値 3.0)に比べ、その差は 13.9 ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は今期に比べ、「好転企業」25.0%、「悪化企業」29.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は \triangle 4.7 となり、前回 (D.I 値 \triangle 12.5) に比べ、その差は 7.8 ポイント改善傾向となっています。

小規模企業の業況は今期に比べ、「好転企業」28.3%、「悪化企業」30.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は \triangle 2.6 となり、前回(D.I 値 \triangle 3.6)に比べ、その差は 1.0 ポイント改善傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

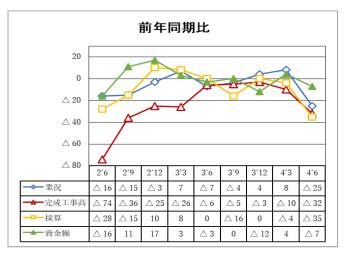
前年比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」 46.4%、D.I.値△32.1 と前年同期(△6.0) に比べ 26.1 ポイントの大幅な悪化となりました。

採 算

前年比で「好転企業」7.1%、「悪化企業」 42.9%、D.I.値△35.8 と前年同期 (0.0) に比べ35.8 ポイントの大幅な悪化となりました。

来期見通し

業況 D.I 値 \triangle 14.3(前年同期 D.I 値 \triangle 18.5)、 完成工事高 D.I.値 \triangle 21.4(同 \triangle 11.6)、 資金繰り \triangle 10.7(同 \triangle 3.7)と前年同期に比べ、 業況でのみ改善傾向となりました。





2) 製造業

生 産 高

前年比で「好転企業」28.6%、「悪化企業」 14.3%、D.I.値 14.3 と前年同期(11.8) に 比べ 2.5 ポイントの改善となりました。

採 算

前年比で「好転企業」21.4%、「悪化企業」 21.4%、D.I.値 0.0 と前年同期(25.0) に比べ 25.0 ポイントの悪化となりました。

来期見通し

業況 D.I 値 0.0 (前年同期 D.I 値 17.7)、 生産高 D.I 値 $\triangle 7.1$ (同 $\triangle 5.9$)、資金繰り $\triangle 7.2$ (同 0.0) と前年同期に比べ、全ての見通しで 悪化傾向を示しました。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「好転企業」18.2%、「悪化企業」 45.5%、D.I.値△27.3 と前年同期(18.2) に比べ 45.5 ポイントの大幅な悪化となりました。

採 算

前年比で「好転企業」18.2%、「悪化企業」 45.5%、D.I.値△27.3 と前年同期(30.0) に比べ57.3 ポイントの大幅な悪化となりました。

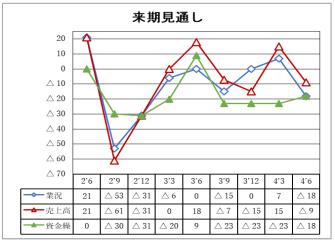
来期見通し

業況 D.I 値 \triangle 18.2(前年同期 D.I 値 0.0)、 売上高 D.I.値 \triangle 9.1(同 18.2)、資金繰り \triangle 18.2 (同 9.1)と前年同期に比べ、全ての見通しで 大幅な悪化傾向となりました。









4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」 36.7%、D.I.値△20.0 と前年同期(△27.0) に比べ7.0 ポイントの改善となりました。

採 算

前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」 33.3%、D.I.値△23.3 と前年同期(△26.9) に比べ3.6 ポイントの改善となりました。

来期見通し

業況 D.I 値△26.6 (前年同期 D.I 値△23.1)、 売上高 D.I.値△26.7 (同△19.3)、資金繰り △16.7 (同△11.5) と前年同期に比べ、 全ての見通しで悪化傾向を示しました。

5) サービス業

売 上 高

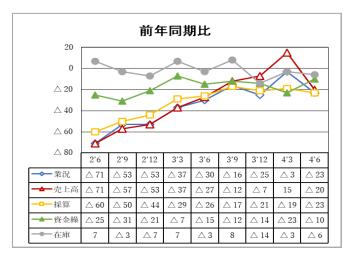
前年比で「好転企業」60.7%、「悪化企業」 7.1%、D.I.値 53.6 と前年同期(△6.6) に比べ、60.2 ポイントの大幅な改善となりました。

採 算

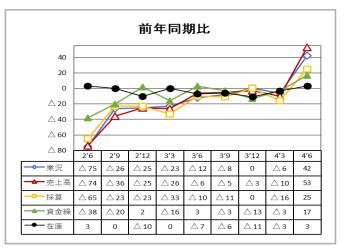
前年比で「好転企業」39.3%、「悪化企業」 14.3%、D.I.値 25.0 と前年同期 (△10.0) に比べ 35.0 ポイントの大幅な改善となりました。

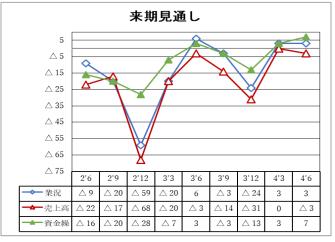
来期見通し

業況 D.I 値 3.6 (前年同期 D.I 値 6.4)、 売上高 D.I.値△3.6 (同△3.2)、資金繰り 7.2 (同 3.3) と前年同期に比べ、資金繰りでのみ 改善見通しとなりました。









第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。 設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建	設業	製 造	業	卸	· 業	小 売	意業	サービ	ごス業	全 業	種
実施した		8 件	4	件	3	件	1	件	5	件	21	件
実施していない		20 件	10	件	9	件	29	件	24	件	92	件
合 計		28 件	14	件	12	件	30	件	29	件	113	件

表 2 業種別設備投資の内容

	建	設 業	製造	業	卸	売 業	小 ラ	も 業	サーヒ	ごス業	全第	美種
土 地	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
店舗	C	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
販 売 設 備	C	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
車輛運搬具	6	件	2	件	2	件	0	件	3	件	13	件
付 帯 設 備	1	件	2	件	1	件	1	件	2	件	7	件
OA 機 器	2	件	1	件	1	件	1	件	0	件	5	件
福利厚生施設	C	件	1	件	0	件	0	件	0	件	1	件
その他	C	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
合 計	9	件	6	件	4	件	2	件	5	件	26	件

※複数回答あり

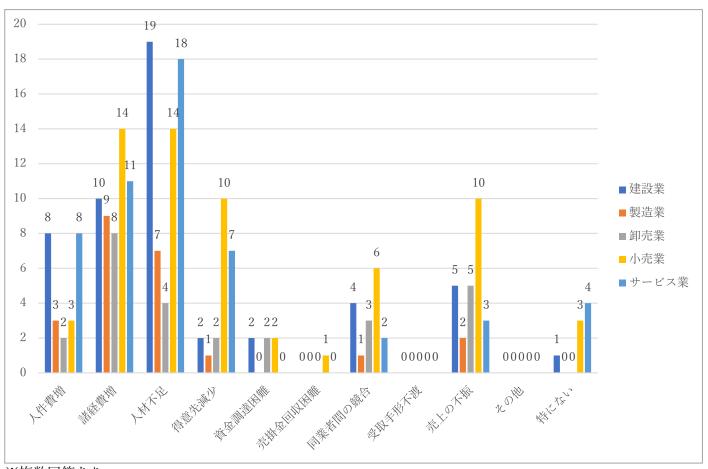
○全業種でみると設備投資に実施したのが 21 件、実施していないが 92 件となりました。前回は設備投資を実施 したのが 28 件、実施していないが 84 件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、 次いで付帯設備となっています。前回は付帯設備が最も多く、車輛運搬具が 2 番目に多く占めていました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表 1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	同業者間の競合
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	得 意 先 減 少 同業者間の競合
卸売業	諸経費増	売上の不振	人材不足	同業者間の競合	人 件 費 増 得意先減少 資金調達困難
小売業	諸 経 費 増 人 材 不 足	得 意 先 減 少 売 上 の 不 振	同業者間の競合	人件費増	資金調達困難
サービス業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	売上の不振
全業種	人 材 不 足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位3位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると製造業、卸売業、小売業で「諸経費増」が多く占めており、建設業、サービス業では前回同様、「人材不足」が多く占めました。

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

○業界の問題点について

【建設業】

- ・相変わらず人手が足りない状況。また、今いる人材を確保するためにも資金の上乗せが必要となる。
- ・燃料費、電気代、包材費、人件費など上がり続けており、利益を圧迫する状況が続いています。

【製造業】

- ・昨年末から用紙、材料が何度も値上げになる。価格転嫁は何度もできない。
- ・人材不足で毎日困っています。派遣も来なく現場での仕事に負担が多く残業が多い状況が続いています。
- ・酒税が高い。
- ・光熱費、原材料費 等すべてが上がっていて利益が出ない。商品の値上げを考えている。
- •慢性的人材不足。

【卸売業】

- ・原油価格高騰、急激な円安により原材料価格が昨年同期の倍となっている。 得意先への価格転嫁が厳しく、 売上は増加しているものの採算は大きく落ち込んでいる。
- ・電力料、運賃の値上げ対応に苦戦している。
- ・人員不足で社員を募集するも製造業の人気はなく、補充出来ず。

【小売業】

- ・仕入れメーカーが春に値上げをしましたが秋にまた値上げを発表。今のところ価格も確定しておらず、見積金額も定まらない。
- ・とにかく求人を出しても人が来ない。それに尽きると思います。仕事量はあるのに人がいないせいで時間がかかり、社員に負担がかかる。
- ・半導体不足による製品の不足。
- ・人材不足が深刻です。特に整備士が全国的に足りない状況で、将来に於いて不安です。
- ・値上げが続いている

【サービス業】

- ・人材不足による休業が時々ある。
- ・海産物を中心とした仕入コストの上昇。外注業者(客室清掃)の人材不足。新型コロナ感染の拡大による受注量の減少。新型コロナ感染の拡大による感染、濃厚接触者扱いによる長期離脱。
- ・7月からコロナ感染者がでてきて、仕事が出来ない日がでてきた。出来ない日が長すぎる。
- ・接客業としてコロナ対策が大変です。
- ・コロナ禍の影響と諸物価高による経費増で売上が減少。また、ロシアとウクライナの戦争による悪影響(原材料の高騰など)はひたひたと地域生活や経済に押し寄せてきています。
- ・人材不足はどこの企業でも問題視されていますがもし人材が入っても、その人材の(若手)育成や指導についてもしっかり考えておかなければと思っています。